

新年を迎えて各会派の抱負

台東区議会自由民主党・無所属の会

区民の声を区政に、今年も頑張ります！



寺井 康芳
幹事長
(区 議 員)



太田 雅久
(区 議 員)



和泉 浩司
(区 議 員)



石塚 猛
副幹事長
(区 議 員)



高森 喜美子
政調会長
(区 議 員)



石川 義弘
会計
(区 議 員)



東 久仁子
(区 議 員)



望月 元美
(区 議 員)



鈴木 純
(区 議 員)

「素早い判断」「迅速な行動」「早期に解決」

新年明けましておめでとうございます。区政の課題は、住民生活に密着し、内容は多岐にわたります。住民の満足度を図る上でこの3点は最も重要なポイントです。「台東区議会自由民主党・無所属の会」は、今年も区民の皆様の声を区政に届け、国・都・区の各議員が連携し、政策実現を目指します。災害に強い、安全・安心なまちづくり、福祉、教育、産業、環境、文化・観光などの充実を図ります。

新たな時代の流れを積極的に取り入れながらも、文化や伝統を尊重し、誰もが暮らしやすく働きやすい、台東区らしい活気あるまちづくりを目指します。

子育て/福祉/教育/産業/観光/環境/防災...

千客万来の元気なまちづくり！

観光客が増えています。まちを散策し、会話のできるおもてなしのまち、台東区に！

台東区の歴史や文化、伝統を活かしていきます。暮らす人、働く人、訪れる人にとって魅力あふれる「国際文化・観光都市」を目指します。観光・産業・まちづくりの連携を図り活力あふれるまちにします。

私たちは「戦う政策集団」です！

アベノミクスの効果で税収は増えてきましたが、少子高齢化や施設の老朽化対策など、需要は大きくなっています。政策の再構築を進め、区民ニーズに応えます。透明性・公正性を高めて効果・効率の良い「区政」を目指します。議会のチェック機能を自覚し、積極的に活動・提言します。

子育てするなら「台東区」！

保育需要に応え、待機児童ゼロを目指します。小・中学校のIT機器の有効活用、こどもクラブの充実、家庭教育支援などの積極的なサポートを推進します。また、いじめを絶対に許さない体制を整備し、学校教育・幼児教育の充実を図ります。児童虐待をなくし、誰もが子育てしやすい社会を目指します！

安全・安心なまちづくり！

防災力・防犯力をさらに向上させ「安全」なまちづくりを進めます。区民の健康増進を図るため予防の重視、医療/福祉/社会保障の連携を深めた「安心」を目指します。誰もが住みよいバリアフリーの整備を推進します。

たいとうフロンティア

「開かれた議会」「区民目線での政策重視の議会」を実現へ！



伊藤 萬太郎
相談役
(区 議 員)



木下 悦希
副幹事長
(区 議 員)



青柳 雅之
幹事長
(区 議 員)



河野 純之佐
副政調会長
(区 議 員)



水島 道徳
副政調会長
(区 議 員)



君塚 裕史
会計
(区 議 員)



早川 太郎
政調会長
(区 議 員)



本目 さよ
副会計
(区 議 員)

新春を寿ぎ、謹んでお慶びを申し上げます。

私たち「たいとうフロンティア」は、地域にあったきめ細かい行政サービス実現のため「開かれた議会」「区民目線での政策重視の議会」をめざし、政党・期数にとらわれず活発な議論を行う、区民のための政策集団です。「行政のチェック・事業の改善・制度の提案」など、議会本来の役割を真摯に実行していくために、会派としての政策能力の向上、情報発信の強化に努めてまいりました。

平成25年の結成以来、定例会ごとに区政レポートを発行しております。26年からはさらに情報発信を充実させるため、「たいとうフロンティア」の会派ホームページやFacebookページを開いたしました。また、昨年度に続き「平成27年度にむけた政策要望」を区長へ提出し、「誰もが笑顔で暮らせる台東区」の実現に向けて、積極的に政策提言を行っています。

今後とも、新たな区政の開拓者=フロンティアとして、区民の皆様の声をいただきながら、台東区政改革に全力で取り組んでまいります。



「誰もが笑顔で暮らせる台東区へ」

- 地球にやさしく・災害に強いまちづくり
- 子どもや高齢者にやさしいまちづくり
- 地域が元気！未来に繋ぐまちづくり
- 学びの大切さを実感できるまちづくり
- 議会・自治体改革の推進

たいとう21

『私達は何故、台東区に集っているのだろうか?』



木村 肇
(区 議 員)



田中 伸宏
副幹事長
(区 議 員)



堀越 秀生
幹事長
(区 議 員)



鈴木 一郎
副政調会長
(区 議 員)



阿部 光利
政調会長
(区 議 員)



富永 龍司
副政調会長・会計
(区 議 員)

上野の山に西洋文化が訪れる彰義隊以前。観音様に仲見世の原型ができる江戸時代の頃。魅力的な“上野”“浅草”に人々は集い、情に溢れた粋な心で“台東区”の基を作った。先人達が残した、歴史・伝統・文化の恩恵。考えてみれば、上野の山にある“寛永寺”も、観音様と呼ばれる“浅草寺”も寺である。目には見えないものに感謝し、敬う心。我々の先祖は、そんな思いを持って集った。そして、“粋”と“優しい心”で町を作ってきた。

時は流れ・・・“平成”の今。

この町が好きで、昔から住んでいる人も多い。そして、この町に憧れて新しく移り住む人も。最近町会で地域活動をする人が減ったと聞く。地域コミュニティや消防団にも人は少ない。「馴染めない」とか「面倒」が理由だそうだが、しかし、不思議なことだが・・・台東区の人口は、逆に増えているのだ。

昔から住む人も、新しく引っ越してきた人も、共に皆で考えて欲しい。会話もしたことがない、見ず知らずの隣人に、たった一言でいいから“声”を掛けよう。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」そんな些細な事が、忘れた何かを思い出させる。

そう、日本人が忘れた、大切な何かを。

『台東区の将来は役人が決めるのではない。区民と区議会が決めるのです。自分で意見を言わなければ、何も事は動かない。いつでも、毎日、我々区議は町にいます。一緒に“台東区”を語り合しましょう。』